

第55回 岐阜県高等学校 新 人 陸上競技対校選手権大会
兼第29回東海高等学校新人陸上競技選手権大会岐阜県予選会 要項

(26244220)

- 1 主 催 岐阜県高等学校体育連盟 岐阜県教育委員会 (一財) 岐阜陸上競技協会
- 2 後 援 (公財) 岐阜県スポーツ協会
- 3 期 日 令和8年 9月26日(土) 8:40～17:15 (開始式8:30)
27日(日) 9:00～16:30 (閉会式16:50)
28日(月) 予備日
- 4 会 場 岐阜メモリアルセンター ヒマラヤスタジアム岐阜 (241020)
岐阜市長良福光大野 2675-28 TEL 058-233-8822
- 5 種 目

第1日目	男子	100m 400m 1500m 110mJH 3000mSC 5000mW 4×100mR 走幅跳 棒高跳 円盤投 ハンマー投
	女子	100m 400m 1500m 100mH 5000mW 4×100mR 走高跳 走幅跳 円盤投 ハンマー投
第2日目	男子	200m 800m 5000m 400mH 4×400mR 走高跳 三段跳 砲丸投 やり投
	女子	200m 800m 3000m 400mH 4×400mR 棒高跳 三段跳 砲丸投 やり投

- 6 参加資格
 - ①令和8年度高体連加盟生徒であり、岐阜陸協登録生徒であること。
 - ②全日制1・2年生、定時制・通信制1・2年生に限る。
 - ③全日制と定時制・通信制の混成チームは認めない。
 - ④年齢は4月2日を起算とし、19歳未満の者とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - ⑤転校後6カ月未満の者は参加を認めない。但し、一家転住等の理由によりやむを得ない場合は、各学校長の許可があればその限りではない。
- 7 出場制限
 - ①1校より1種目3名以内、リレーは1チーム(6名以内)とする。
 - ②1人2種目以内、ただしリレーは除く。
- 8 競技方法
 - ①2026年日本陸上競技連盟競技規則による。
 - ②男女別学校対校、得点は1位6点～6位1点とする。
- 9 表 彰
 - ①団 体 男女総合優勝校に優勝カップを、男女別6位まで、男女トラック、フィールド別3位まで賞状を授与する。
 - ②個 人 6位まで賞状を授与する。
- 10 申し込み
 - ①方 法 各学校顧問に対して「県高校新人申込ファイル」をメールで送信する。注意点をよく読み、必要事項を全て入力の後、地区委員長へデータ送信を行う。同時に参加申込書をプリントアウトし、学校長の認印を受け、地区委員長に提出する。
デジタルデータと紙データに食い違いがないこと。記載ミス等があった場合は、早急に各地区専門委員長に連絡すること。

記録は **2025/1/1～2026/9/1 までの公認最高記録**を入力する。

デジタルデータと紙データに食い違いがないこと。

②期 限 ◇データ送信 9月 1日（火）17時完了

◇参加申込書 9月 4日（金）17時必着

③申込先 データ・参加申込書は各地区専門委員長へ提出すること。

④大会参加費について

・1名につき、750円を申し込みと同時に納入すること。

・振込先 十六銀行 市橋支店 普通 1296106

岐阜県高体連陸上競技専門委員長 太田和憲

※地区専門委員長は、各学校より送信された申し込みデータをチェックし、間違いがあれば各顧問に連絡し訂正する。確認した申し込みデータは9月3日（木）17時までに情報担当者（関商工・安藤）へ送信する。また、各学校より提出された参加申込書（学校長印）は、部顧問代表者会議に持参する。

《顧問代表者会議》

9月8日（火）14：00～ 長良川スポーツプラザ 研修室 ※但し、依頼した顧問のみ

*個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報及び肖像権は高体連・陸協の活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。（プログラム、報道関係、大会結果掲載等）

11 日 程 ※ 顧問代表者会議後に正式決定。（岐阜陸協ホームページに掲載予定。）

- 12 その他
- ① 男女4×400mRタイムレース決勝の番組編成は、大会2日目の9：00時点での出場チームで編成する。申込以降、欠場が判明した場合は総務まで届けること。
 - ② 本大会各種目6位までの入賞者6名には、10月10日～11日 三重交通Gスポーツの杜伊勢で行われる東海高校新人大会の出場権を与える。出場者6名を6位までの入賞者で決められない場合は、決勝出場者より繰り上げて出場権を与える。成績発表と同時に玄関ロビーで東海新人大会の申し込み手続きをすること。出場権を辞退する場合は、速やかに東海新人申込係へ申し出ること。決勝進出者は、係より繰り上げ出場の意志確認の連絡があることも想定しておくこと。
 - ③ ポール、投てき用具は、検査を受けて使用することができる。
 - ④ 貴重品・衣服などの管理は各自で行い、盗難・紛失などの責任は負わない。
 - ⑤ 競技場周辺での投てきの練習は禁止する。
 - ⑥ 参加校は、補助員3名を出し、申込一覧表に補助員氏名を記入すること。両日とも8：00に雨天練習場に集合すること。

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

競技は、2026年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。

日本陸上競技連盟競技規則の規定に適合しないシューズの使用を禁止する。規定に違反して競技を行った場合は失格とする。審判長が疑義を抱いた場合、検査を行う場合がある。

2. 練習会場等について

- (1) 競技開始前におけるメイン競技場での練習は、9/26・7:00～8:20、9/27・7:00～8:40とする。
- (2) 投擲練習は禁止する。招集終了後、メイン競技場内でのみ審判の指示で練習を行う。
- (3) サンサンデッキ下を使用する練習は禁止する。

3. 招集について

- (1) 招集時間は、以下のとおりとする。招集場所は補助競技場側メインスタンド下器具庫とする。

招集時間	開 始	終 了
トラック	25分前	15分前
フィールド	50分前	40分前
走高跳・棒高跳	60分前	50分前
砲丸投・ハンマー投	40分前	30分前

- (2) リレーオーダー用紙は、競技日程に記載された時刻までに提出すること。
- (3) 男女4×400mRの番組編成は9/27役員全体会後に行う。大会申込後、欠場が決まった学校はそれまでに総務まで欠場の意思表示を行うこと。

4. 競技について

- (1) WA 競技規則 CR18.5 の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19 に違反があった競技者やリレーチームに YC を提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以降の他の種目の出場は可能である。YCを提示の累積は、当該種目のみに適用する。
- (2) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
- (3) 男子5000m、男女4×400mRは、タイムレース決勝とする。
- (4) 800mは、セパレートスタートとする。
- (5) 男女5000mWは、競技運営上の理由から途中で競技を止める場合がある。35分を超えて次の周回に入らない。
- (6) 男子5000m・女子3000mはグループスタートで実施する。
- (7) 三段跳の踏切板は男子11m、女子は9mでおこなう。
- (8) フィールド競技の公式練習は、原則2回とする。
- (9) 携帯電話やトランシーバー、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDもしくは類似の機器を競技場内に持ち込んではならない。認められる助力の範囲としてタブレット等を操作する場合は審判員の指示に従うこと。

5. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは胸部と背部に着けること。ただし、跳躍競技出場者は、胸部または背部のみでよい。
- (2) トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバー標識（レーンナンバーカード）を招集所で受け取り、1500m以下及び4×100mRのアンカーはパンツの右後方、3000m以上及び4×400mRの2走・3走はパンツの左右後方につけること。

6. 競技の抽選並びに番組編成について

- (1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順序は、それぞれプログラム通りとする。ただし準決勝以後は主催者で抽選して決定する。
- (2) トラック競技においてプラス出場者が決定数を超える場合、同記録者については、写真判定を拡大し、細部まで読み取り着差の判定をする。1000分の1秒まで同じで、レーンに余裕のない場合は本人または代理人によって抽選する。

7. 競技用具について

- (1) 棒高跳用のポールは跳躍場において審判員が検査する。やり、ハンマー、砲丸、円盤は各競技1時間前から招集完了時刻まで第1ゲート横（フィニッシュ側）器具庫内において検査する。検査に合格した器具は、競技場借上げとして使用することができる。競技終了後、同じ場所で返却する。
- (2) スパイクの長さは9mm以下を使用する。但し、走高跳・やり投は12mm以下とする。

8. フィールド競技計測ラインについて

※荒天の場合は審判長が指示する。

	走 幅 跳	三 段 跳	砲 丸 投	円 盤 投	や り 投	ハンマー投
男 子	5 m 7 0		8 m 0 0	2 2 m 0 0	3 5 m 0 0	
女 子	4 m 4 0				1 5 m 0 0	

9. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

※荒天の場合は審判長が指示する。

	練 習	試 技					
男	走 高 跳	1.50・1.65・1.80	1. 5 5	1. 6 0	1. 6 5	1. 7 0	以後3cmずつ
女	走 高 跳	1.25・1.40・1.50	1. 3 0	1. 3 5	1. 4 0	1. 4 5	以後3cmずつ
男	棒 高 跳	3.20・3.60・3.90	3. 2 0	3. 4 0	3. 6 0	3. 8 0	以後10cmずつ
女	棒 高 跳	2.20・2.60・3.20	2. 2 0	2. 4 0	2. 5 0	2. 6 0	以後10cmずつ

第1位が複数出た時は順位決定を行う。また、第6位が複数出た時は代表決定を行う。

この時のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

10. 表彰について

1～3位までの入賞者は、表彰をするので結果の正式発表（大型スクリーン表示）後10分以内に1Fロビーへ集合すること。4～6位の賞状は、各校関係者が受け取り、持ち帰る。（1階ロビーTIC横）

11. 東海高校新人陸上競技選手権大会について

各種目6位までの入賞者6名には、10月10～11日 三重県・三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場にて行われる、第29回東海高校新人陸上競技選手権大会への出場権を与える。競技結果正式発表後すぐに玄関ロビーで受付を行うこと。都合により出場を辞退する場合は、競技結果正式発表後、30分以内に受付まで連絡すること。出場辞退があった種目は、決勝出場者より順に繰り上げ推薦し、出場権を与える。決勝進出者以下から選出する場合は、決勝より1つ前のラウンドの記録上位者より順に繰り上げ推薦し、出場権を与える。ただし、招集完了時点で出場予定者が6名以内の種目については、出場者に東海大会への出場権を与える。

12. その他

- (1) 補助員は、両日とも8時00分に、雨天走路に集合すること。
- (2) 各自が使用した場所は、責任を持って清掃し、ごみも必ず持ち帰ること。
- (3) 大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、救護室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。
- (4) 撮影禁止エリア（巻末参照）におけるカメラ、ビデオ等の撮影を禁止します。
- (5) スタンドを除く競技場内および補助競技場内には、選手および競技役員以外は立ち入らないこと。

参加人数・参加校数

	男 子	女 子	合 計
岐 阜	2 8 9	1 3 1	4 2 0
西 濃	8 7	2 2	1 0 9
中 濃	1 1 9	3 6	1 5 5
東 濃	1 3 1	5 7	1 8 8
飛 騨	7 5	3 6	1 1 1
合計実人数	7 0 1	2 8 2	9 8 3
合計参加校	5 6	5 4	5 9